

令和四年度 飯田高等学校卒業式 式辞

冬の間、近隣の山々や里に厚く積もっていた雪が溶け、地表から春を告げる福寿草の花が顔を出し、春の足音が聞こえる、穏やかな季節を迎えました。

本日、日頃から本校の教育振興に、格段のご高配を頂いております、大田中同窓会長様、落合PTA 会長様のご臨席を賜り、令和四年度長野県飯田高等学校卒業式を挙行できますこと、大変有難く、心より御礼を申し上げます。

ただいま卒業証書を授与した普通科 195 名、理数科 38 名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員を代表して、心よりお祝い申し上げます。若き日の節目となる、記念すべき日を迎え、この学び舎を巣立とうとしている皆さんの胸中には、ここで過ごした幾多の思い出と、明日からの新しい生活を前にした緊張が、膨らんでいることと思います。

保護者の皆様方、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。お子様は今日ここに、力強く新しいステージへ踏み出す時を迎えました。これまでのご労苦とご訓育が実り、この日を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

思い起こせば3年前、新型コロナウイルス感染対策強化として、皆さんが高校入学した直後から、臨時休業の措置が取られました。それ以来、マスクの着用をはじめ様々な制約のもと、また感染への不安を感じながら、仕方のないこととは言え、窮屈で、悔しい高校生活を過ごしてきたのではないかと思います。しかし、そのような状況であっても、授業はもちろんのこと、班活動や生徒会活動において、真摯にそして一生懸命取り組んできた皆さんの姿に日々接し、校長としても大変頼もしく感じるとともに、これからの新しいステージを、力強く歩んでくれるものと確信しております。また、コロナ感染防止のため、本日の卒業式に参加していない1，2年生にとっても、皆さんの姿は高校生活を送る上で、大きな励みとなったことでしょう。

さて、皆さんが過ごした飯田高校での3年間、新型コロナウイルスの出現や、ロシアによるウクライナ侵攻などにより、国内外の社会・経済は大きな影響を受け、後世「あの時代は歴史の大きな転換点だった」と、言われるようになるかもしれません。また、今後も私たちの予測を超える出来事に遭遇したり、地震や台風などの自然の猛威にさらされて、人間の非力さを痛感させられることもあるでしょう。さらには、目覚ましいAI技術の発達への対応、地球温暖化防止のための脱炭素社会の実現、民主主義勢力と覇権主義勢力の国際的な相克などの課題にも、対峙しなければならなくなるでしょう。

しかし、私たち人類は、これまでも幾多の困難や課題に直面してきましたが、その都度英知を結集して乗り越えてきました。皆さんは、これから直面するであろう課題に対しては、自分に直接係わる課題であると認識するとともに、多様な人々と接する中で、多様な価値観を認め合い、対話を続け“感性”を磨くこと、また、困難に直面しても決して諦めず、私たち人類がこれまで積み重ねてきた、知識や経験を学なぶことによって“知性”を高め、その知性を最大限活用して、対応することが重要だと思います。

以前ある講演会で早稲田大学の田中愛治総長が、「これからの予測困難な時代を迎えるにあたっては、『しなやかな感性』と『たくましい知性』を身に着けることが重要である」と話していましたが、まさにこのことではないかと思います。卒業生の皆さんには、今後とも日々の生活の中で『しなやかな感性』を磨き、『たくましい知性』を高め、これからの混沌とした社会を、切り拓いていってほしいと切に願っております。

最後に、卒業する皆さんは、今日、楽しかったこと、悲しかったこと、嬉しかったこと、苦しかったこと、様々な思い出が詰まった学び舎を後にし、新しい世界へと巣立って行きますが、飯田高校は、皆さんの心のふるさととして、いつまでも皆さんとともにあります。

卒業する皆さんの将来が光り輝き、皆さんの人生が幸福と充実感に満たされることを心から願って式辞といたします。

令和五年三月二日
長野県飯田高等学校長 駒瀬 隆